

偕行現代考

正義の混沌

三重県偕行会会長

植松 克介 陸自56

今、「正義」という名の妖怪が国際社会でうごめいています。ここで言う「正義」とは、正しい道理、筋道ではなく、国家（宗教、民族等も）の権力が唱える「正義」です。

国家の中で実施されるべき「正義」は、自然的正義と人為的正義である。

前者が自然法、後者が実定法（大辞林）であり、実定法的正義は国家権力が定める。

国際社会は、第1次世界大戦後と第2次世界大戦後に永久平和を目指し、「世界の正義」を求めた枠組みを構築した。しかし、拒否権を持つ安全保障理事会の常任理事国の壁もあり、必ずしも十分に機能しているとは言えないのが現状である。

そこへ、世界の警察官を自任してきたアメリカが、その役割を放棄する方向に動き出している。

まさに、百家争鳴、「正義」が混沌状況を呈してきた。

最後まで世界を支配してきた人間理性の尊厳の思想が、終末を迎えようとしているとも言える。

かつて、日本は昭和の初期に国際連盟を脱退し、「日本の正義」を掲げ、国際社会に挑戦したものの、不首尾に終わっている。

アメリカが、「アメリカファースト」という「正義」を唱え始めた今、日本はアメリカに寄り添って「アメリカの正義」の実現を補完していく立場をとり続けるのか。また最近、著しく台頭してきた戦前回帰論の道をとるのか。更に国際的な傾向となっているネオナシヨナリズムを唱えるのか。

いずれにしても経済力だけでなく、新しい理念（正義）を必要とする時代になってきている。

そして、「歴史は繰り返す」という至言が脳裏をよぎる。何とか杞憂であってほしいと想うこの頃である。

広告目次

(株) セレモア……………表紙3
(株) 東京都民互助会……………表紙3
ローレルバンクマシン(株)…表紙4
(株) 武蔵富装……………55
信和株式会社……………55
(株) 和泉家石材店……………56

本誌へ広告掲載をご希望の方は、事務局へご用命下さい。